

申請者	静岡県焼津市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (862,900千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- ハード（新焼津体育館の整備等による元焼津公園周辺の拠点整備をはじめとした、中心市街地における地域資源を活用した7つの拠点整備や、モビリティの活用による回遊性向上等）と、ソフト（ファンクラブの構築等による関係人口の拡大や、二地域居住の推進等）の両面からの取組によって、焼津を大きく変化させ、人口減少社会の中にあっても、関係人口の量的拡大・質的向上と社会増の好循環を実現し、持続可能な地域社会を実現する。 - 体育館の整備にあたっては、既存の体育館にはない新たな設備を整備するとともに、各種ソフト事業を組み合わせることで、単なる市民の体育館利用にとどまらない、多面的な機能を持つ「スポーツ・文化・健康・防災拠点」へと作り替えることで、地方創生2.0基本構想の政策の5本柱の1つ「安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生」を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○新焼津体育館整備事業 - まちづくり拠点の一つ、元焼津公園周辺を、地域資源を活用した文化・スポーツ・交流の拠点として再整備する上での不可欠な事業として、新焼津体育館の整備を行う。 - 新焼津体育館の整備に伴い様々な機能を付加することで、賑わいの創出や、関係人口の量的拡大・質的向上、移住者の増加、安心して働き、暮らせる生活環境の創生等、様々な角度から地方創生に貢献する。					「焼津にぎわい・まちづくり構想」 7つの拠点整備と回遊性の向上による、行ってみたい、住んでみたい、住み続けたいと思われる、ワクワクするまちづくり  新焼津体育館（イメージ図）	
	【R8年度事業 経費内訳】<拠点整備事業> 建築物本体工事・外構工事 862,900千円 （リノベーション不可な市民体育館について「スポーツ・文化・交流・健康・防災」拠点とするための新築工事）						
主なKPI	①地域の人口・世帯数(社会増)（+1,350人） ②関係人口（+517,415人） ③市内総生産金額（+150億円） ④心身ともに健康だと思ふ市民の割合（+4%） ⑤地域幸福度指標（Well-Being指標）における、防災対策への評価（+0.8ポイント） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/culture-sports/sports/sports-shisetsu/yaizu-gymnasium/new-gymnasium.html